ユネスコ無形文化遺産登録決定記念

八代の宝から世界の宝へ　妙見祭を彩る人たち

「八代妙見祭の神幸行事」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを記念して、40ある出し物と祭りを彩る人たちの思いを紹介します。

36 笠鉾（かさぼこ） 松（まつ）

松は謡曲「老松」や「高砂」に基づくと考えられています。1764年の記録によれば、この頃の平河原町の笠鉾は「孔雀」で、1800年代に「松」に変わりました。

平河原町笠鉾松保存会　浅野　幸一郎さん

今後は妙見祭をいかに維持していくか、50年後、100年後の後世に残していくかが大切になってきます。ユネスコ無形文化遺産に登録され八代の宝から世界の宝になるので大事にしなければならないと感じています。

37 笠鉾 迦陵頻伽（かりょうびんが）

迦陵頻伽は、上半身は人、下半身は鳥の姿をした想像上の生物です。謡曲「羽衣」にも登場し、この世が極楽世界さながらであることを祝ったものです。

塩屋町笠鉾迦陵頻伽保存会　小林　信介さん

3年前から八代小で公開寒干（かんぼし）を行っており、子どもたちに関心を持ってもらいたい、引き継いでもらいたいと思っています。ユネスコ無形文化遺産に登録されて外部からの視線が変わってくることを意識して参加したいです。

38 流鏑馬（やぶさめ）

流鏑馬神事に出場する射手は鬼面綾檜笠（きめんあやひがさ）を被ります。左腕には各射手の家紋が金糸で縫い取られた射籠手（いごて）をつけ、腰には鹿の夏毛で作られた行縢（むかばき）を履きます。

八代妙見祭流鏑馬保存会　鬼塚　千弘さん

4年前に130年ぶりの復活を成し遂げた流鏑馬のメンバーとして活動しています。これからは海外からの観光客も増えると思います。

熊本県民の宝である妙見祭を今後も盛り上げていきましょう。

39 亀蛇（きだ）

亀蛇は亀と蛇が合体した想像上の動物です。その昔、妙見神が亀蛇に乗って海を渡ってきたという伝説にちなんだものと考えられます。

出町亀蛇保存会　志垣　明生さん

亀蛇を見て喜んでくれる市民の人がいてうれしいです。また、それに恥じないような振る舞いをしていかなくてはならないと思います。ユネスコ無形文化遺産に登録されたのでまずは日本全国、そして世界中の人に見に来てもらえるような祭りにしたいです。

40 飾馬（かざりうま）

近年では高校の同窓会や地区の団体などの花馬好きが集まり奉納しています。各団体で10月頃から馬主の牧場などで馬の世話をし、人馬一体となるよう馬追いの練習を行い、安全に奉納できるよう取り組みます。

八青會（はっせいかい）　村上　浩亮（こうすけ）さん

一番は妙見祭を楽しむこと。けがをすることなく最後まで楽しむことを毎年の目標としてやっています。今年がユネスコ無形文化遺産に登録されて初めての妙見祭なので盛り上げていきたいです。

1獅子　2花奴　3木馬　4鉄砲　5毛槍　6白和幣　7籠　8笠鉾菊慈童　9神馬　10神馬奉行　11甲冑武者　12大麻　13大太鼓　14神官　15阿須波神　16火王・水王・風王　17奏楽大太鼓　18奏楽　19四神旗　20紙幣　21弓矢　22対の槍　23御太刀　24神輿　25長刀　26紫翳　27菅翳　28立傘　29斎主　30笠鉾本蝶蕪　31笠鉾蘇鉄　32笠鉾西王母　33笠鉾猩々　34笠鉾蜜柑　35笠鉾恵比須　36笠鉾松　37笠鉾迦陵頻伽　38流鏑馬　39亀蛇（カメ）　40飾馬（花馬）